

定例公安委員会の開催状況について

令和7年6月5日に定例山形県公安委員会が開催されました。議事の概要は次のとおりでした。

1 定例会報告事項

(1) 山形県警察大学生等サイバーパトローラーの委嘱について

山形県警察大学生等サイバーパトローラーの委嘱について報告があった。

委員から、大学生等がサイバー空間のパトロールに関わることで、警戒の範囲が広がることが期待される旨の発言があったほか、委嘱された大学生等は、将来、警察のサイバー部門での活躍が期待できる人材になり得るのではないかと旨の発言があった。

委員から、パトロールに当たる大学生等のモチベーションを維持、向上させるため、担当警察官が随時声掛けし、必要な情報を共有することで、効果的な制度の運用につなげていただきたい旨の発言があった。

(2) 教職員を対象とした不審者侵入対応研修会の実施について

教職員を対象とした不審者侵入対応研修会の実施について報告があった。

委員から、学校では、これまで刺股を使った訓練を実施しているが、今後も、学校関係者が、刺股を的確に使用できる訓練を継続していただきたい旨の発言があったほか、机や椅子等の学校内にある物品で、突然の侵入者に対処する方法も訓練に盛り込んでいただきたい旨の発言があった。

委員から、不審者の侵入により児童・生徒が人質になる事態を防ぐため、県内の各学校で対処訓練を行う必要がある旨の発言があったほか、学校では、不審者への警戒が手薄になる時間帯等もあると思料されるため、教育局とよく連携し、実践的な訓練、研修を行っていただきたい旨の発言があった。

(3) 森林放火事件被疑者の検挙について

森林放火事件被疑者の検挙について報告があった。

委員から、被疑者の犯行動機を解明し、今後の捜査に生かしていただきたい旨の発言があったほか、空気が乾燥する時期の火災は、降雨も少なく、被害が拡大しやすいため、放火は言語道断だが、火の不始末に関する注意喚起も必要と考える旨の発言があった。

委員から、地道な警察活動により、被疑者検挙につなげた警察署員や関係捜査員に敬意を表したい旨の発言があった。

(4) 高速道路における逆送事案防止対策について

高速道路における逆送事案防止対策について報告があった。

委員から、逆走の当事者は、高齢者とは限らず、認知機能の低下が原因とも断言できない状況であるため、逆走に気付いても、どこかでUターンして順行に戻れば良いと安易に考える運転者が出ることも懸念されることから、逆走事案は、逆走に至った経緯をはじめ、防止に向けた継続した対策が必要である旨の発言があった。

委員から、逆走した場合、運転者はどのように対処すべきなのか、ルールをしっかりと周知し、徹底させることが必要である旨の発言があった。

2 定例会説明事項

○ 警察基盤通信網の高度化更新について

警察基盤通信網の高度化更新について報告があった。

委員から、警察が取り扱う情報は、通信量が増えていることから、通信網の高度化は不可欠と感じている旨の発言があったほか、通信に間隙を生じさせないよう、必要な試験等もしっかりと行い、万全な運用をお願いしたい旨の発言があった。

委員から、自然災害等で通信回線が途切れる事態が生じないよう、万が一を想定した対応をお願いしたい旨の発言があった。

3 個別審議等会議

- 開示請求に係る審査請求の裁決について

警察本部から、開示請求に係る審査請求の裁決について決裁を受け、決定した。

- 運転免許行政処分審査

警察本部から、運転免許の取消処分に係る意見の聴取、聴聞結果について決裁を受け、決定した。